

受験番号

2024 年度 一橋大学大学院ソーシャル・データサイエンス研究科（修士課程）
二次選考（筆記試験）

社会科学 入試問題

2023 年 9 月実施

【 注 意 事 項 】

1. 「解答はじめ」というまで開いてはいけない。試験時間：13 時 30 分～14 時 30 分。
2. 問題は本文 10 ページ、解答用紙は 2 枚である。下書き用紙 2 枚は自由に使ってよい。
試験開始後、直ちに確認し、ページ数・枚数が異なる場合は、手を挙げなさい。
3. 試験開始後、問題の表紙、解答用紙、下書き用紙に受験番号を正確に記入しなさい。
氏名は記入しないこと。
問題、解答用紙、下書き用紙は一切持ち帰らないこと。
4. **経営学** **経済学** **法学** **政治学** の 4 つの問題から 1 つを選んで、解答用紙に日本語で解答を記入しなさい。
解答用紙上段の「問題名」の中から、解答する問題名 1 つを選んで、○で囲みなさい。2 つ以上の問題名を○で囲んでいる場合や、問題名を○で囲んでいない場合は得点を与えないので、以下の記入例をよく確認すること。

《記入例》 **経営学** を解答する場合

解答用紙

問題名	以下の中から解答する問題名 1 つを選んで、○で囲みなさい。 2 枚の解答用紙で、同じ問題名を○で囲むこと。
	経営学 / 経済学 / 法学 / 政治学

5. 解答を記入する際は、解答する問いの番号（**問 1**、**問 1.(1)**等）を必ず記入すること。

経営学

以下の2つの問いに対して、解答しなさい。解答にあたり、図表または数式を用いてもよい。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

- (1) 企業経営における「探索 exploration」と「深化 exploitation」の概念を説明し、それぞれの欠点を踏まえたうえで、「両利きの経営 ambidexterity」について説明せよ。
(300字以内)
- (2) 「両利きの経営」について、「組織構造」「戦略」「時間」の3つの観点から、それぞれの実践例を記述しなさい。(3つ合わせて、合計400字以内)

問2

- (1) 現代では様々な広告媒体が利用可能である。本問では、「テレビ」「新聞」「雑誌」の3つの広告出稿先について考える。この3つの媒体のそれぞれについて、他の2つの媒体と比較した場合の広告主にとっての長所を、1つずつ説明せよ。(合計 300 字以内)

- (2) 関心のある企業を1つ例示し、SWOT分析を行いなさい。その際、各「S」・「W」・「O」・「T」が何の頭文字であるかを記述しなさい。(400 字以内)

経済学

以下の2つの問いに対して、解答しなさい。解答にあたり、図、数式、または、その両方を用いて解答することを推奨する。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

消費者は財 x 、財 y の2財を消費することとする。まず、市場における需要側である消費者について説明する。 x を財 x の消費量、 y を財 y の消費量とし、財 x 、財 y の消費から得られる効用は以下の関数によって表されるものとする。

$$u(x, y) = bx - cx^2 + y$$

また、消費者は以下の予算制約式のもとに効用を最大化するように財 (x, y) の消費を決定するものとする。

$$p_x x + p_y y = I$$

ここで財 x の価格は p_x 、財 y の価格 p_y は1、 I が所得であるとし、それは財 y の最適消費量がゼロとならないほど十分大きいものとする。財 x の市場には M 人の消費者がいるものとする。なお、財 x の市場では、供給側では一社の独占企業のみが操業している。その企業の費用関数は以下の通りである。

$$C(q) = Eq$$

ここで q は産出量である。

以下の問いに答えなさい。

- (1) 財 x の市場の需要関数を求めなさい。
- (2) 財 x の市場の均衡価格、均衡産出量、独占企業の利潤の式を求めなさい。

問 2

経済成長論における基本的なモデルであるソロー・モデルを用いて、少子化とそれに伴う貯蓄率の変化が、定常状態における一人あたりの GDP に与える影響を分析しなさい。ソロー・モデルにおいては、一人あたりの資本の需要量は人口増加と資本の減耗の正の関数であり、一人あたりの資本の供給量は、一人あたりの貯蓄量に等しいことになる。少子化は、人口増加率の減少と考える。また、一人あたりの労働投入量を 1 単位とし、生産関数は収穫一定とする。

法学

以下の2つの設問の両方に解答しなさい。ただし、問1と問2の解答は、それぞれ別々の解答用紙に記入すること。

問1

法律学における「自立救済の禁止」という概念の内容について簡潔に説明したうえで、日本の法制度における最高裁判所の役割と日本の司法制度の最高裁判所を巡る制度的課題について論じなさい。

問2

日本におけるインターネット接続のブロッキングの法的問題について、日本国憲法上の課題も含めながら、現在の施策と課題を論じなさい。

政治学

以下の2つの問いに対して、解答しなさい。ただし、問1と問2でそれぞれ別々の解答用紙に解答を記入すること。

問1

次ページ以降に、2009年、2012年、および、2021年に行われた衆議院議員総選挙の開票結果の集計データの一部を掲載している。これらのデータを利用して、選挙制度が政党システムに与える影響について、論じよ。解答に際しては手書きのグラフや表を利用しても構わない。(500字程度。図表は文字数に含まない。)

※なお、掲載しているデータは主要政党のみのため、掲載されている各政党の得票率や議席数を合計しても右端の合計欄とは必ずしも一致しない。また、政党名の略称は、以下のとおりである。

2009年：民主党（民主党）、自民党（自由民主党）、公明党（公明党）、共産党（日本共産党）、社民党（社会民主党）、みんな（みんなの党）。

2012年：自民党（自由民主党）、民主党（民主党）、維新（日本維新の会）、公明党（公明党）、みんな（みんなの党）、未来（日本未来の党）、共産党（日本共産党）。

2021年：自民党（自由民主党）、立民（立憲民主党）、維新（日本維新の会）、公明党（公明党）、国民（国民民主党）、共産党（日本共産党）。

データの出典：総務省自治行政局選挙部「第45回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」、
「第46回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」、および、「第49回衆議院議員総選挙・最高裁判所裁判官国民審査結果調」掲載のデータから出題者が再集計。

問2

問1に引き続き、選挙制度が政党システムに与える影響について考える。次の(1)・(2)の両方に答えよ。解答の際には(1)と(2)を区別して記入すること。

- (1) 問1で利用した集計データの他に、どのように集計した開票データを利用すれば、選挙制度が政党システムに与える影響についてよりよく検討することができるか、アイデアを述べよ。(200字以内。)
- (2) 問1で利用した集計データの他に、世論調査を行って、選挙制度が政党システムに与える影響について考えることにする。どのような調査・質問をすることでどのような理論的な仮説を検証できると考えるか、アイデアを述べよ。(200字以内。)

2009年

全国合計

		民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	みんな	合計
小選挙区	得票率	47.43	38.68	1.11	4.22	1.95	0.87	100
	議席数	221	64	0	0	3	2	300
比例代表	得票率	42.41	26.73	11.45	7.03	4.27	4.27	100
	議席数	87	55	21	9	4	3	180

東北ブロック

		民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	みんな	合計
小選挙区	得票率	48.13	38.13	0	1.96	3.93	0.95	100
	議席数	19	5	0	0	0	0	25
比例代表	得票率	45.48	27.87	9.65	5.89	5.92	4.51	100
	議席数	7	4	1	1	1	0	14

東京ブロック

		民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	みんな	合計
小選挙区	得票率	44.35	37.74	1.58	9.22	1.7	0.56	100
	議席数	21	4	0	0	0	0	25
比例代表	得票率	40.98	25.47	10.35	9.61	4.32	6.06	100
	議席数	8	5	2	1	0	1	17

近畿ブロック

		民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	みんな	合計
小選挙区	得票率	47.25	31.18	5.18	8.28	1.19	0.15	100
	議席数	41	5	0	0	1	0	48
比例代表	得票率	42.41	23.23	12.98	9.56	3.68	4.17	100
	議席数	11	9	5	3	1	0	29

九州ブロック

		民主党	自民党	公明党	共産党	社民党	みんな	合計
小選挙区	得票率	37.82	45.34	0	2.45	5.72	0.3	100
	議席数	20	13	0	0	2	0	38
比例代表	得票率	38.1	29.17	15.19	5.27	5.95	3.37	100
	議席数	9	7	3	1	1	0	21

2012年

全国合計

		自民党	民主党	維新	公明党	みんな	未来	共産党	合計
小選挙区	得票率	43.01	22.81	11.64	1.49	4.71	5.02	7.88	100
	議席数	237	27	14	9	4	2	0	300
比例代表	得票率	27.62	16	20.38	11.83	8.72	5.69	6.13	100
	議席数	57	30	40	22	14	7	8	180

東北ブロック

		自民党	民主党	維新	公明党	みんな	未来	共産党	合計
小選挙区	得票率	44.81	24.3	8.44	0	1.64	10.71	6.6	100
	議席数	19	4	0	0	0	1	0	25
比例代表	得票率	28.55	18.57	16.71	9.18	7.06	9.02	5.92	100
	議席数	5	3	2	1	1	1	1	14

東京ブロック

		自民党	民主党	維新	公明党	みんな	未来	共産党	合計
小選挙区	得票率	38.14	21.74	13.17	1.79	7.26	6.71	8.92	100
	議席数	21	2	0	1	1	0	0	25
比例代表	得票率	24.87	15.42	19.86	10.14	11.67	6.86	7.41	100
	議席数	5	3	3	2	2	1	1	17

近畿ブロック

		自民党	民主党	維新	公明党	みんな	未来	共産党	合計
小選挙区	得票率	32.57	20.23	23.59	6.27	2.8	2.36	10.16	100
	議席数	24	6	12	6	0	0	0	48
比例代表	得票率	23.86	12.03	30.76	12.66	6.52	4.94	7.52	100
	議席数	7	3	10	4	2	1	2	29

九州ブロック

		自民党	民主党	維新	公明党	みんな	未来	共産党	合計
小選挙区	得票率	49.39	18.82	9.78	0	3.21	3.13	7.12	100
	議席数	34	0	1	0	0	0	0	38
比例代表	得票率	29.91	14.89	18.17	15.64	6.37	3.91	5.06	100
	議席数	7	3	4	3	1	1	1	21

2021年

全国合計

		自民党	立民	維新	公明党	国民	共産党	合計
小選挙区	得票率	48.08	29.96	8.36	1.52	2.17	4.59	100
	議席数	187	57	16	9	6	1	289
比例代表	得票率	34.66	20	14.01	12.38	4.51	7.25	100
	議席数	72	39	25	23	5	9	176

東北ブロック

		自民党	立民	維新	公明党	国民	共産党	合計
小選挙区	得票率	55.76	33.87	1.21	0	1.86	5.05	100
	議席数	16	7	0	0	0	0	23
比例代表	得票率	39.51	24.06	6.28	11.07	4.75	7.11	100
	議席数	6	4	1	1	0	1	13

東京ブロック

		自民党	立民	維新	公明党	国民	共産党	合計
小選挙区	得票率	41.32	32.08	12.86	1.59	1.17	6.26	100
	議席数	15	8	0	1	0	0	25
比例代表	得票率	31.02	20.06	13.32	11.1	4.75	10.4	100
	議席数	6	4	2	2	0	2	17

近畿ブロック

		自民党	立民	維新	公明党	国民	共産党	合計
小選挙区	得票率	34.23	16.81	26.61	6.22	3.05	7.45	100
	議席数	17	4	16	6	2	0	47
比例代表	得票率	25.67	11.63	33.91	12.32	3.24	7.85	100
	議席数	8	3	10	3	1	2	28

九州ブロック

		自民党	立民	維新	公明党	国民	共産党	合計
小選挙区	得票率	51.39	26.8	2.54	0	2.5	3.66	100
	議席数	22	6	0	0	1	1	35
比例代表	得票率	35.69	20.09	8.57	16.5	4.43	5.8	100
	議席数	8	4	2	4	1	1	20

